



6がつ 附幼だより

令和5年5月31日

学生の幼稚園見学、園児も学生も楽しい！

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

初夏と言える季節に入りました。でも、日中は暑い日もありますが、朝夕はまだまだ寒い日が続いています。幼稚園では、のどの痛みや咳が出る「かぜ症状」が少し流行っています。6月は戸外中心の遊びが増え、園児の活動量も増えてきます。また、運動会の練習も始まりますので、お家へ帰った時には早めの就寝で心身ともにゆっくり休ませてあげましょう。

さて、4月末から7月にかけて、毎週のように教育大学1年生約50名が来ています。幼児教育現場を学び、幼児期の園児の様子を観察するためです。幼稚園の先生になるためはもちろんですが、小中学校の先生になるためにも園児の遊びの様子を見たほうが、子どものイメージをもちながら大学の講義を聴くことができ、良い学びができると考えています。

幼稚園の生活や遊びを体験し、実際の子どもを感じ、幼児の遊びを体感することが一番大事なことと考えていますので、「園児から遊びに誘われたら、遠慮なく遊んでください」と話してあります。園児は50人の学生に見られて、緊張したり、気持ちが引いたりするかな？と、はじめは少し心配していました。でも、私たちの目から見ると学生がいても園児のやりたいように遊びが進み、学生が園児に遊ばれているようにも見えます。(学生は楽しそうです) 先日の気温が高かった日は池や砂場に水が入り、多くの学生が園児と遊んで全身ずぶぬれ状態になっていました。園児も優しいお兄さんお姉さん達とたっぷり遊ぶことができ、楽しそうでした。学生も子どもと楽しく遊んでいるようです。良い経験・観察ができたと思います。学校の先生も人材不足の時代です。幼児期の子どものイメージをもってもらい、大学でしっかり学んでもらい、良い先生になってほしいと思います。

これからも音楽や美術の学生、大学との様々な交流を進めたいと考えています。

5月31日現在。旭山公園、嵐山公園は「クマ出没入園禁止」

先日、嵐山公園（北邦野草園）で今シーズ初登山に行きました。ところが、「クマ出没立入禁止」になって登山はできませんでした。さらに、旭山動物園横の旭山公園でも、公園の売店から上は「クマ出没立入禁止」になっていました。

旭川は山に囲まれた盆地なので、和寒・比布方面、西御料方面、江丹別方面、東旭川方面からクマが山や川を通して旭川方面へ来る条件がそろっていると思います。クマが国道などの多くの車が通る道を渡っている姿を見た方もいます。特に朝早くは注意が必要かも……。これから自然に近い公園などへ行くときは「クマがいるかも」と少し考えなければなりません。嵐山公園は登山の練習にちょうどいいです。秋には年長さんも行きます。クマ出没情報を確認していきます。

